

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般財団法人 牧阿佐美バレエ団
公演団体名	一般財団法人 牧阿佐美バレエ団

内容
<p>ワークショップのゴールは「総合芸術としてのバレエを知り、本公演への期待を膨らませてもらおうこと」です。</p> <p>知識(歴史のお話し)×体験(バレエの動き)×音楽でバレエ公演を楽しく鑑賞できる知識を身につけましょう。ワークショップは2部構成です。</p> <p>1部 (約45分)【体験/知識】</p> <p>柔軟・ストレッチ……ダンサーと一緒に柔軟やストレッチを行います。 クラシックバレエのレッスン……通常バレエ団で行っているクラスレッスンの一部を見学 その後簡単な動作を体験してもらいます。 パ・ド・ドゥ(組んで踊る)……ダンサーが男女で組んで踊るテクニックを披露 数名の生徒さんにもダンサーと組んで体験してもらいます。 マイム……バレエには台詞がありません。代わりに手の動きで言葉を伝えます。 基本的なマイムを知るだけで物語がよく分かる！一緒にやってみましょう。</p> <p>2部 (約45分)【知識/体験/音楽】</p> <p>本公演「ドン・キホーテ」についての説明と本公演で〈共演する〉踊りの練習をします。 「ドン・キホーテ」の舞台では実際にダンサーがタンバリンを使ってリズムを取りながら踊ります。生徒さんたちにも一緒にリズムを取ってもらいます。闘牛士登場の場面ではマントを使い場面を盛り立てます。この振りも一緒に参加してもらいます。</p>

タイムスケジュール (標準)
ワークショップ開始 1時間前に学校入り・準備～内容90分～撤収30分程度
(例) 13:30 ワークショップ開始の場合 12:20 学校入り・準備 13:30 ワークショップ開始 15:00 ワークショップ終了・撤収

派遣者数
指導者 1名
舞踊手 4名
ピアニスト 1名

学校における事前指導

【服装】

ワークショップ当日は体操服を着用してください。または動きやすい服装をお願いします。スカートはお勧めできません。

【代表】

生徒さん全員で参加していただきますが、ステージの上でダンサーと組んで参加する生徒さんの代表（8～10名）を決めておいていただくと当日スムーズに進行することができます。代表はバレエ経験を問わずどなたでも結構です。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般財団法人 牧阿佐美バレエ団
公演団体名	一般財団法人 牧阿佐美バレエ団

演目	
第1部 「さあ、いよいよバレエが始まります！」	バレエの解説
	バレエ「ドン・キホーテ」 前半
第2部 バレエ「ドン・キホーテ」 後半	
	作曲 レオン・ミンクス
	演出・振付 アザーリ・M・プリセツキー
	演出改訂 三谷恭三

派遣者数	
出演者	41名
スタッフ	9名
合計	50名

タイムスケジュール（標準）	
8:30~11:30	スタッフ到着・搬入・仕込み
10:30	ダンサー到着
11:30~12:15	ダンサーレッスン・リハーサル
12:15~12:45	参加生徒リハーサル
13:00	開場
13:30~15:00	本番（休憩10分含）
終演後~	搬出
*大まかなスケジュールです。	
学校の授業時間、給食時間など学校と調整いたします。	

実施校への協力依頼人員	
舞台設営、照明設営、衣装準備を行います。こちらは技術スタッフがいきます。	
<ul style="list-style-type: none"> ・搬入と公演終了後の搬出に、大人の方8名程度のお手伝いをお願いいたします。作業は安全な範囲で実施いただきます。 ・お手伝い頂いた方はご希望があればクラス・リハーサルをご見学ください。 ・本公演でダンサーたちと実際の舞台に立つ体験をしていただきます。 	
第1部 街の子供達 4~5名（衣装はこちらで用意いたします）	

演目解説

明るく情熱的なスペインを舞台にした、ユーモアたっぷりの人気演目です。人気の理由は、

1. つま先で立ってぐるぐると回転したり、ジャンプしたり...

わっと驚く**バレエの超絶技巧が盛りだくさん**

2. 主役カップルの**ユーモアたっぷりの演技**

3. 舞台は**明るく情熱的なスペイン！**闘牛士やタンバリンなどスペイン情緒満載の演出

クラシックバレエにおける超絶技巧を存分に堪能できる「ドン・キホーテ」は、世界中で上演されている人気演目のひとつです。「白鳥の湖」に代表されるような悲しいお話しも素敵ですが、今回は笑って楽しめるバレエを鑑賞してみましましょう。バレエのちょっと窮屈なイメージが覆されるかも知れません。

あらすじ

老郷士ドン・キホーテは、騎士道物語を読みふけるうちに現実と虚構の世界の区別がつかなくなり、物語に登場するドルシネア姫に会いに旅に出ます。

舞台はスペイン・バルセロナの広場。にぎやかな街の中に、宿屋の看板娘キトリと、恋人で床屋の息子のバジルが登場します。キトリの父は娘を金持ちの貴族ガマーシュと結婚させようと思っていますが、キトリは全く相手にしません。闘牛士たちの踊りで広場がますますにぎわう中、ドルシネア姫を求めて旅をしてきたドン・キホーテとサンチョ・パンサが到着します。ドン・キホーテはキトリをあこがれのドルシネア姫と思い込んでしまいます。サンチョ・パンサが食べ物を盗んでひと騒動。その騒ぎにまぎれてキトリとバジルは逃げ出します。

キトリとバジルが逃げ込んだ居酒屋に、父親とガマーシュ、続いてドン・キホーテとサンチョ・パンサも追いかけてきます。キトリとバジルは示し合わせて狂言自殺を仕立て、まんまと父親に結婚の承諾を取り付けました。

晴れて結ばれたキトリとバジルの結婚式が行われ、それを見届けたドン・キホーテは、またドルシネアを探して旅立っていきました。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

バレエの本編が始まる前にワークショップで学んだことを思い出していただけるように解説のお時間を設けます。

第1部では**街の子供達として実際に舞台に立っていただきます**。生徒さん一人に担当のダンサーをつけますので安心して参加していただけます。共演するからこそわかる緊張感やダンサーの演じ方などを、舞台上で身近に感じて理解を深めてみましょう。また、鑑賞する生徒さんも手拍子やタンバリンで参加できる場面もあります。

バレエは舞台、照明、衣装、音楽と踊りでできている総合芸術です。お時間が合えば仕込みやダンサーの準備などを見学なさってください。

児童生徒とのふれあい

事前のワークショップから生徒さんたちと一緒に楽しんでバレエを理解していただきます。

公演当日、舞台上で共演する生徒さんは「舞台を作り上げる」「人に見てもらう」「何かを伝えようとする体験」ができます。観ている生徒さんもリズムで参加しましょう。**舞台と客席の一体感**が感じられます。

身近な体育館で行われることで劇場鑑賞に親しみを持ってもらえることでしょう。

